

# 「融資保証金詐欺」にご注意ください！

実在の貸金業者になりすまして現金を騙し取る、融資保証金詐欺が多発しています。東京都は、被害実態を把握するとともに消費者の皆様幅広く注意を呼びかけるため、「緊急調査」を実施いたしました。

## 「東京都の緊急調査」の概要

### （調査期間）

平成17年7月13日（水）～29日（金）

### （相談件数）

121件

### （被害状況）

1,765万円（22件）

### （被害相談の一例）

#### （事例1）

他県在住の男性は、7月初旬に「××県限定！年0.7%、900万円まで即日融資」などと書かれた折込チラシをみて、債務の一本化を図る目的で250万円の融資を申し込んだ。ところが電話の相手から「信用状況が悪く保証金が必要」などといわれ、指示された大手消費者金融から融資を受けて、そのうちの28万円を指定場所へ郵便為替で送金したが、その後の融資が行われなかった。

都で調べたところ、実際の登録業者については5月末に既に廃業されており、当時の商号や登録番号、所在地などが勝手に使われていることが判明した。

#### （事例2）

他県在住の自営業者は、7月初旬にファックスで送られてきた広告をみて、年利3.2%、1,000万円の融資を申し込んだところ、「担保条件として損害保険加入が必要」といわれ、指示どおり45万円を指定口座に振り込んだ。ところがその後、融資の送金手続きのためのデータの修正名目で27万円、データ修正の外部発注名目で25万円を次々に要求され、その都度支払ってきたが、融資が実行されず計97万円の被害を被った。

都で調べたところ、実際の登録業者については昨年末の時点で既に営業実体がなく、また廃業の届け出もされていないことが判明した。

何者かが商号や登録番号、所在地などを勝手にかたり詐欺行為に及んでいたものであり、東京都では、同様被害の拡大を防ぐため、登録取消しの行政処分手続きを行った。

## 【被害にあわないために】

### ①誇大広告に惑わされない

「特別金利 1%、3%、5%」や「保証人・担保不要 900 万円まで即日融資」などの極端な低金利や有利な融資条件を強調した広告に惑わされない。  
そのような低利・好条件の融資話は、まずあり得ないと疑ってみることが重要。

### ②登録業者の情報をチェックする

「名称」「所在地」「都の登録番号」「固定電話番号」

などが東京都に登録されているか、事前に問い合わせる。

※最近の手口

広告には都に登録されている業者の名称、所在地、登録番号を無断で載せているが、**届け出以外の電話番号**（フリーダイヤルなど）が大きく掲載されていることも多い。

東京都では、ホームページでの登録業者検索サービス、または電話での登録照会を行っています。

（産業労働局ホームページ）

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/>

（貸金業者の登録の有無）

直通電話 5 3 2 0 - 4 7 7 4 平日朝 9 時～12 時、午後 1 時～4 時 30 分

### ③振り込め詐欺の手口にのらない

「融資前に保証金を送ってくれば融資する」

「融資前に損害保険料が必要」「データを修正する」

などといって、融資をする前にお金を騙し取ろうとする。

融資を申し込んだのに、なぜ事前にお金を渡さなければならないのでしょうか？

冷静な判断が必要です。

東京都は、警視庁との連携のもとに、悪質な貸金業者の撲滅に努めています。

（都知事登録業者に関する苦情・相談窓口）

産業労働局 金融部 貸金業対策課

直通電話：5 3 2 0 - 4 7 7 5、 平日朝 9 時～12 時、午後 1 時～4 時 30 分

夜間休日には、留守番電話の「被害受付ダイヤル」になります。